

## 『 歴史的建築物の活用と改修 - その職能とデザインを考える 』

講師：笠原 一人 氏 [ 京都工芸繊維大学 助教 ]

日時：令和4年 2月25日（金） 18：00 ～ 20：00 頃 [ 質疑等含め ]

オンライン開催 & リアル開催（定員8名） - 会場：京都建設会館 別館4階

参加費；会員：1,000円（主催，共催者共） / 一般：1,500円 / 学生：無料

CPD：2単位 ， JIA 修復塾講座での単位取得も可

主催：（一社）日本建築協会京都支部 ， 共催：（公社）日本建築家協会近畿支部京都地域会

本年度セミナー事業は、文化庁補助事業「令和3年度 地域文化財総合活用推進事業（地域文化遺産）」に採択されています。

### レクチャー 概要

近年、歴史的建築物の「活用」や「改修」、「リノベーション」などと呼ばれる事例が各地で増加している。文化財保護法も「保存」から「活用」に向けて大きく改正され2019年に施行した。しかし現在も解体される歴史的建築物は数多く、オリジナルの歴史的価値を十分生かしきれていない改修も散見される。歴史的な価値を守るための制度や人材、職能、教育の環境も十分ではない。ヘリテージマネージャー制度が普及し、全国規模の人材育成ができつつあるが課題もある。歴史的建築物の活用や改修において、何が必要とされているのか。職能の問題とデザインの問題から考えてみたい。



ロームシアター京都（旧京都會館）



京都市 京セラ美術館



大丸 心齋橋店

### 講師プロフィール

笠原 一人（かさはら かずと）

京都工芸繊維大学 助教，リビングヘリテージデザイン（旧住宅遺産トラスト関西）理事，DOCOMOMO Japan 理事  
1970年神戸市生まれ。1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。博士（学術）。2010-11年オランダ・デルフト工科大学客員研究員。専攻は近代建築史，建築保存再生論。単著に『ダッチ・リノベーション』（鹿島出版会）。共編著に『建築と都市の保存再生デザイン』（鹿島出版会），『建築家 浦辺鎮太郎の仕事』（学芸出版社）ほか。共著に『関西のモダニズム建築』（淡交社），『村野藤吾の住宅デザイン』（国書刊行会），『近代建築史』（昭和堂）など。

申込先：日本建築協会 京都支部事務局 Email：kyokai-kyotoshibu@kyoto-kenchikushikai.jp

問合せ等 Phone 075-211-2857 リアル会場 所在：京都市中京区押小路通柳馬場東入橋町641

申込方法：オンライン参加 / リアル会場参加の方 共に、下記口座に御入金頂き、明細票等を添付（写真等）の上  
上記 Email アドレスへ 申込みをお願いします。 ※ 申込み〆切：2月21日（月）

● 振込口座：みずほ銀行 京都中央支店 普通預金 1636694 シヤ）ニホンケンチクキョウカイキョウトシブ

◆ 申込み時のメールには、下記項目の記載を願います。

記載項目：氏名 / 携帯電話番号 / 勤務先 / 属性（会員，一般，学生） / CPD 番号 / オンライン又はリアル会場参加

● 申込み登録完了の返信メールを一旦させて頂き、オンライン ID 等の情報送信は開催数日前に送信対応します。

※ ご入金頂きました参加費の返金は致しかねますので、御了承がいます。

※ 会場参加の方は、当日は必ずマスクを着用いただき、発熱・咳等の症状が見られる場合には、出席をご遠慮ください。